

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	圏央所沢病院 増改築計画	階数	地上4F
建設地	所沢市東狭山ヶ丘四丁目2690-1	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	300 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	平成29年12月 予定	評価の実施日	2017年5月15日
敷地面積	17,565 m ²	作成者	(株)ナイス・パートナーズ
建築面積	1,875 m ²	確認日	-
延床面積	6,632 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 利用者にとって分かりやすく、明るく落ち着いた病院。		-
Q1 室内環境 外皮の断熱強化、複層ガラスの採用により温熱環境に配慮した。	Q2 サービス性能 耐震性の割増、耐用年数の長い管材の使用等により建物の長寿命化に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑化による良好な景観形成に配慮した。
LR1 エネルギー 光庭やトップライトの採用等により自然エネルギー利用に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓等の採用により水資源保護に配慮した。	LR3 敷地外環境 外皮の断熱強化、複層ガラスの採用によりLCCO ₂ 排出量の低減に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
圏央所沢病院 増改築計画

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
0 建築物の環境品質									2.8
Q1 室内環境					0.40		-		2.8
1 音環境				2.7	0.15	2.2	1.00		2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音				2.4	0.40	2.2	0.40		
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				2.0	0.60	1.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		Lr-50			-	4.0	0.20		
1.3 吸音				3.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境				2.5	0.35	2.6	1.00		2.5
2.1 室温制御				3.2	0.50	3.4	0.50		
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能		外皮の断熱強化、複層ガラスの採用		4.0	0.25	4.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				2.3	0.25	3.0	1.00		2.4
3.1 昼光利用				1.8	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		【病室】1.25%以上		1.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御				2.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	1.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.6	0.25	3.7	1.00		3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		F 建材を全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				2.0	0.30	3.3	0.38		
1 換気量		【病室】基準の1.2倍		3.0	0.50	4.0	0.33		
2 自然換気性能		1/10以上			-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視					-		-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能					0.30		-		3.1
1 機能性				2.4	0.40	4.0	1.00		2.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		個室10㎡/床以上、多床室8㎡/床以上			-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応					-		-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40		
1 広さ感・景観		CH=2,650			-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30		-		3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		基準の1.25倍		4.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:ライニング鋼管(B)、排水:塩ビ管(B)、空調:銅管(C)		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.6	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		節水器具の採用、系統の細分化、井水利用、緊急用水栓の設置		5.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.6	0.30	3.3	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	[全体]3.9m以上、[病室]3.7m以上	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	[全体]0.3未満	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラック・配管配線	5.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	配管配線	5.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			増改築部分 BPI _m =0.82	4.8	0.20	-	4.8
2 自然エネルギー利用			光庭・トップライトの採用	4.0	0.10	-	4.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m] = 0.90	2.5	0.50	-	2.5
4 効率的運用				2.0	0.20	-	2.0
集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水			自動水栓、自動洗浄小便器等の採用	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.7	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無	井水利用	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			GL工法	5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	
1	消火剤			-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			外皮の断熱強化、複層ガラスの採用	3.3	0.33	-	3.3
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場・駐輪場の確保、交差点を避けた出入口の計画	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	圏央所沢病院 増改築計画	BEE	0.9	BEEランク
------	--------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		=	5.9	
3.3	+	2.6				
重点項目の各スコアの合計点						
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上			

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	3.3
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.3
< 配慮した内容を記述 > 外皮の断熱強化、複層ガラスの採用によりLCCO ₂ 排出量の低減に配慮した。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 > 敷地内緑化による良好な景観形成に配慮した。			

: 入力欄